

平成23年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・助言	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画反映内容
<p>I 提案の履行状況に関する項目 平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策 (1)施設の設置目的及び管理運営方針</p>	<p>①四季を問わず充実した植物展示と多彩な催事 ②多岐・生涯にわたる教育的役割の発揮 ③花きの振興と生産者の支援 ④幅広い府民との協働</p>	<p>募集時に提案された項目について、提案どおりの実施状況が認められる。 来年度以降についてもイベントの開催回数等については維持すること。</p>	<p>イベント等の開催回数等については、削減することなく同等レベルを維持する。</p>	<p>次年度以降についても、これまでと同等以上のイベント開催を実施予定。</p>
<p>Ⅲ適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項 (1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>①当初見込んでいた収入は得られているか ②経費は当初見込んでいた範囲内で収まっているか</p>	<p>天候や震災の影響など、当初の想定が不可能な事案についてはやむを得ない部分はあるが、入園者数が減少したことの更なる分析は必要である。 また、入園料の減少に伴って顧客満足度を低下するような経費削減はすべきでない。</p>	<p>過年度における入場者数の推移や傾向などを分析し、年齢層・地域別等の分析結果を踏まえて宣伝・広告などの手法について見直しを行う。 また、経費の縮減については、施設管理運営上の努力によって行う。</p>	<p>年度当初における広告活動については震災の影響等により自粛していたが、春先から5月前までのイベント期間における集客対策を強化。地域別などの分析結果を踏まえた広報活動として、チラシの配布先等について再度洗い出しを行う。 経費削減策については、施設維持管理経費等の見直しによって実施する。</p>